

日本で実現でききる最良の
リハビリテーション医療。
それが私たちの目標です。

東京湾岸
リハビリテーション
病院

TOKYO
BAY
REHABILITATION
HOSPITAL





(c)2007 RTKL,David Whitcomb

個人の生活空間を大切にしています



ロビーではコンサートや様々な催しを行います



東京湾岸リハビリテーション病院 院長
近藤 国嗣

安全で質の高い医療を
提供していきます。

当病院は、日本最先端・最高峰のリハビリテーション医療を目指す専門病院として、千葉県習志野市の中核医療機関である谷津保健病院を母体に2007年に誕生いたしました。

近年、リハビリテーションを必要とする患者様は急増しておりますが、リハビリ医療をしっかりと行える施設はまだ不足しており、特に首都圏では顕著です。このような状況に対応して、当病院は東京湾岸地域や千葉県北西部地域にお住まいの回復期患者様に、しっかりとしたリハビリ医療を提供させていただき、再び社会の中でいきいきと暮らしていただけることを目標としています。

院長を務めさせていただきます私は、1988年に慶應義塾大学医学部リハビリテーション科の研修医となつて以来、同科の教育関連施設である6つの医療機関で一貫してリハビリ医療に取り組んで参りました。これまでの経験とリハビリ医学の進歩に合わせて、より充実したリハビリ医療の提供を目指しております。

当病院には、8人のリハビリ科医師、約100名のリハビリスタッフ、約100名の看護・介護スタッフが勤務しております。本邦トップレベルの充実した機器・設備も持っており、まさに大学病院にも匹敵する高水準の体制が整っております。

我々の経験と技量をすべて注ぎ込み、安全で質の高い医療だけではなく、常に高いゴールをめざすリハビリテーション、切れ目のないリハビリテーションサービス、科学的根拠に基づいたリハビリテーションをご提供することを努めていきます。

ぜひ、あなたの社会復帰を我々にお手伝いさせていただきます。

常に高いゴールを目指し
挑戦していくことが、
より多くの方々が
再びいきいきと
暮らしていただけることに
つながると思うのです。

運

悪く病やけがで障害を負ってしまったとしても、再び社会で活躍すること、日々いきいき暮らすことをあきらめるのは早すぎます。

完全に元に戻ることが難しい場合も、障害を背負った患者様自身が、ご家庭へ帰った後の姿をしっかりとイメージして、そこへ近づくために必要な訓練と準備をする、これをするとならないとは大違いです。

とはいえ、一体何をどうしたら良いのか、ひとりでは途方に暮れることも多いはず。

そんな患者様をお手伝いするのが、私たちのご提供するリハビリテーション医療です。

人体には未知の部分も多く、潜在的な回復力・成長力をどこまで引き出せるか、どうやればより大きな力を引き出せるか、研究が続けられていきます。これだけやれば済むような方程式はありません。

私たち医療者も、常に患者様自身に最適な方法を探り、昨日よりも今日、今日よりも明日と、少しでも良い結果が出せるよう挑戦し続けることをお約束します。

EBMの考えで ひとりひとりに最適な リハビリテーション医療を 提供します。

たとえ同じ病気の後遺症であつても、患者様の個性や生活のスタイルによって、必要となるリハビリテーションプログラムは千差万別です。そして、訓練室での機能訓練だけでなく、病院内で行う生活動作のすべてにリハビリテーション効果を持たせることが可能です。しかし現実には、医療者の経験や勘でプログラム決定している病院が少なくありません。そして、生活動作まで目配りし、1年365日24時間をフルに生かす病院は多くありません。当院では、リハビリテーション専門の医師が、看護師はもとより、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といった各分野の専門家のチームを有効に働かせ、いつでもどこでもリハビリに取

リハビリテーション 開始



時間を定めて行われる各療法以外にも院内の日常生活すべてを生かすよう、各療法士と看護部が共同でプログラムを作成し、積極的な離床と排泄での自立を達成できるよう目指します。



入院

総合受付にお越しください。係の者が病棟までご案内し、病棟で担当の看護師が院内での生活についてご説明いたします。ご本人、ご家族のご希望やお考えを遠慮なくお聞かせください。

治療計画作成

リハビリテーション医が、患者様を診て、ご本人やご家族のご希望に近づけるために何が必要か検討し、理学療法、作業療法、言語聴覚療法などの治療計画を作成します。

各種検査

安全にリハビリテーションが行えるように、心電図、血液、レントゲン、CT、エコーなどの検査をいたします。



診察科目

リハビリテーション科

障害を負った機能を回復させ暮らしへの復帰を助けます。

脳・神経・筋肉や骨などの病気やけがにより、食べる・しゃべる・歩く・見る・考えるなど生活するうえで大切な機能に障害の生じた方を対象としています。全身・全人格的に診察し、機能回復のための治療を行って、在宅生活や社会への復帰をお手伝いします。

神経内科・内科

障害の原因治療だけでなく危険体質の緩和も行います。

脳・脊髄・末梢神経・筋肉の異常を取り扱う科ですが、生活習慣病や脳血管障害再発の危険因子となる高血圧・高脂血症・糖尿病などの管理も行い、皆様が安心してリハビリに取り組めるようサポートいたします。



定期的な カンファレンス

医師・看護師・PT・OT・ST・MSWが、定期的集まって話し合い、プログラムの達成度を確認すると共に、新たに目標を設定していきます。



電話相談

相談室直通Tel・Fax : 047-453-9019
病院代表 : 047-453-9000

情報提供書等の書類による検討

入院相談外来の予約

入院相談

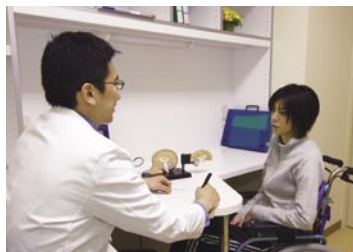
御持参いただくもの
診療情報提供書、発症時・最新のCTおよびMRIフィルム、保険証

入院日の決定のお知らせ

入院

入院相談の流れ

入院ご希望の方は、まず医療福祉相談室までご連絡ください。医療機関からの診療情報提供書（紹介状）を拝見して検討した後、ご家族がご本人に入院相談外来までお越しいただき、医師や医療ソーシャルワーカーが、ご本人やご家族の思い、ご希望を伺います。



り組めるようにいたします。
また、プログラムの決定と実施、結果の検証を科学的な根拠に基づいて行います。患者様一人ひとりの体の状態や生活スタイルに常に目を配りながら、特定の方法論にこだわることなく、より効果の高い治療プログラムを選択し、実践していきます。

退院に向けての取り組み

退院

入院でのリハビリは卒業です。介護保険サービスなど様々なサポートがありますので、上手に利用して、生活の中でもリハビリを継続し、機能を落とさないように頑張ってください。



外出訓練や試験外泊を実施し、ご家族のご報告もいただいて生活スタイルを考えます。介護保険サービスが必要な場合は、退院後すぐ使えるようMSWがお手伝いします。



フォローアップ

当院へお越しただければ、外来でのリハビリ実施が可能です。医療保険のリハビリ期間が終了してしまった場合でも、介護保険適用のデイケアで続けることができます。



理学療法(PT)

寝返りや起き上がりなどの基本的な動作や歩行・階段昇降などの訓練を行います。こういった基本的な動作を自力でできるようめざします。



作業療法(OT)

日常生活動作や家事・仕事・遊び・学習などの「作業」を通して回復を促進し、一人ひとりの能力を最大限に生かす生活の再構築をお手伝いします。



言語聴覚療法(ST)

特に口の周辺に重点を置き、コミュニケーション能力や食べ物の飲み込みの回復をはかります。記憶や注意、思考などの障害にも目配りします。



リハビリテーション看護

患者様の日常生活動作の自立へ向け、その方の持てる力を最大限に生かせるケアを実践しています。「食べる喜び」を「生きる喜び」として実感していただくため、「摂食・嚥下の看護」を実践します。人が本来持っている自然治癒力を高めるため、皮膚の状態をよく観察して保湿・清潔に努める「スキンケア看護」の充実を図ります。



医療ソーシャルワーカー(MSW)

入院相談から退院後の生活まで社会福祉の立場から様々なご相談をお受けします。介護保険等の福祉サービスのご紹介も行っています。



総合病院と介護保険施設と 密接な連携を持つ地域完結型医療を 提供できます。



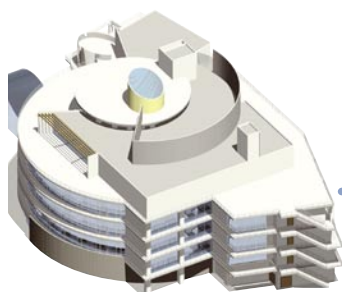
谷津居宅サービスセンター

様々な介護保険サービスと生活能力を維持するためのリハビリテーションを提供いたします



谷津保健病院

発症直後より疾病の治療とともに急性期リハビリテーション医療を提供いたします



東京湾岸

リハビリテーション病院

充実したリハビリスタッフと最新の機器を備え積極的なリハビリテーション医療を提供いたします

リハビリ医療だけが単独で必要となることはありません。必ず、障害の原因となる疾病の治療と退院後の生活を考慮したリハビリ医療が必要です。また、同時に複数の疾病を抱えた患者様の場合、積極的な治療とリハビリとを並行して行う必要があります。慢性的持病などを抱えた患者様の場合、病状

悪化に伴い積極的治療の必要となる可能性も常に念頭に置かねばなりません。

当院は、地域の基幹急性期病院である『谷津保健病院』を母体として、200メートルほどの至近距離に設立されました。リハビリの領域に留まらない急性期医療に関しては、即座にバックアップを受けることが可能なので、質の高い医療を一貫した形でご提供できます。

地元へお帰りになる場合は、ご紹介いただいた病院・診療所の医師の方々と緊密に連絡・連携を取ります。何らかの問題が発生しましたら、速やかにご相談に応じることができず。

また、隣接する『谷津居宅サービスセンター』が、様々な看護・介護サービスをご提供できます。

医学の発展を目指す、 研究熱心な実力のあるスタッフが 揃っています。

医療は人対人のサービスです。質の高いものになるか低いものになるか、スタッフの能力と士気次第でいくらでも変わります。

能力の高いスタッフを集め、その士気を高く保つには、働き甲斐のある職場として、スタッフに働く喜びを与えられなければなりません。患者様に満足していただくためにも、スタッフもまた充実した日々を送る必要があるのです。

研究もまた医療者の喜び

医療者にとっての喜びは、自分の能力が患者様のお役に立つことと同時に、高い目標へ向かって挑戦して結果を出し、医学の発展に寄与すること、自分の能力を向上させることです。

ですから、当病院ではスタッフが日常業務にも研究にも能力

をフルに発揮できるよう大学病院と緊密な連携を取ると共に、スタッフの研究を積極的に支援していきます。

成果は患者様に還元

結果として、患者様にとっては、日本最先端のリハビリ医療を受けるチャンスが広がります。また、研究とは自己検証と工夫

の積み重ねですから、研究熱心な医療者が集まれば、必然的に独りよがりな医療もなくなりま

す。将来は、当院を巣立った医療者たちが、他の医療機関のリーダーとして活躍し、日本全体のリハビリテーション医療を底上げする、そんなことを目指しています。



マルチチャンネルCT(6ch)にて、短時間で脳の状態がわかります。



コンピューター解析により脳血管の状態を見ることがもできます。

リハビリ研究室には、脳の活動している部位がわかる光トポグラフィーや、体の動きや重心移動が細かくわかる3次元動作解析装置付床反力計をはじめとして、多機能筋力測定装置(BIODX3)、高頻度磁気刺激装置など大学病院レベル以上の研究・検査機器があります。



9:00am

午前の
リハビリテーション
病棟や1階のリハビリテーショ
ンセンターで、一人ひとりの
状態に合わせたプログラムを、
担当のスタッフが責任をもっ
て行います。



6:00am

さあ、一日のはじまりです。
顔を洗って歯を磨きましょう！



7:00am

着替え

まずは洋服に着替えるところから。いつ
までもパジャマだと生活にメリハリがつ
きません。毎日の着替えは機能回復の
訓練になりますし、気分もリフレッシュ
します。

朝食



毎日のリハビリテーションが
快適に行われるように
全力をつくします。



誤

解されがちですが、提供
する医療のレベルや安全
性が高いからといって、必ずし
も最善の結果が出るとは限りま
せん。リハビリテーションが効
果を挙げるためには、何より患
者様本人の意志や気力が大切だ
からです。

このため院内が快適であると
同時に、患者様と医療者との人
間関係が良好であることは、非
常に重要です。

さらに退院後の生活を考える
と、患者様本人だけリハビリテ
ーションして済むという例はほ
んどなく、ご家族にも患者様
の障害への理解を深めていただ
く必要がありますので、当院で
は定期的な家族教室を開いて
います。

病院では、複数の専門家によ
るチームが、きめ細かく対応い
たします。

退院後の生活にスムーズに移
行できるよう、地域の福祉サー



6:00pm

夕食

何なら食べられるのか、どのくらい食べられるのか、いつなら食べられるのか、どうしたら食べられるのか、常に一人ひとりの状態に合わせて模索を続けます。



3:00pm

ティータイム

リハビリに心のゆとりと水分補給はとても大切です。リゾート気分を味わえる屋上庭園で、お茶を楽しみながら、しばしリラックスしましょう。



12:00am

昼食

食べることは生きること。清潔で明るい雰囲気の中、一人ひとりの状態に合わせたおいしい食事をご提供いたします。毎日の楽しみになるはずですよ。

9:00pm

就寝

今日もお疲れさまでした。最後にパジャマに着替えていただきます。くつろいだ状態でゆっくりお休みください。



医師

「障害の状態を診させていただき、ご本人・ご家族のお気持ちをお伺いした上で、スタッフと話しあいながら、チームリーダーとしてリハビリテーションを進めて行きます。」



理学療法士

「知識と技術の研鑽にはげみ良質な理学療法をご提供すると共に、患者様やご家族と一緒に、いろいろなことを共感しながら歩いていけたらと思っております。」



作業療法士

「それぞれの生活の場が充実した時間に満たされるように、一人ひとりの「作業」の実現をめざし、様々な解決方法を提案していきたいと思っております。」



言語聴覚士

「私は、言葉や食事に困っている方々にとって、一つでも二つでも希望の持てる生活が送れ、不安の解消につながる訓練がしていきたい。」



医療ソーシャルワーカー

「病気や障害がありながらも、その方らしく生活を送るためにどうしたら良いか、ご本人・ご家族などと共に考え、それが実現できるよう支援していきます。」



看護師

「患者様の自立とご家族の支援に向けて、一緒に悩み、喜び、励ましあいながら日常生活の援助を行っています。」

1:00pm

午後の

リハビリテーション

理学療法、作業療法、言語聴覚療法などが行われるほか、日常生活すべてを訓練として、早く寝たきりを脱することや排泄の自立をめざします。

ビス関係者とも密接な連携を取らせていただきます。その他経済的な問題など、体の障害以外に生活上気になっていることがあれば、医療ソーシャルワーカーなどがご相談にのっていますので、お気軽にお声かけください。





アメリカ人建築家による大胆な設計。



天井のライトもデザイン性豊か。



四季折々の花が咲く屋上庭園。



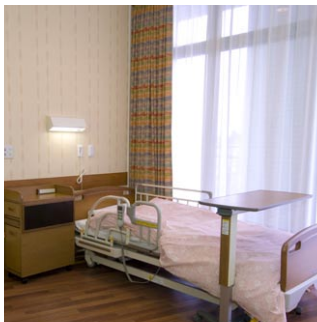
開かれたナースステーション。



広々と開放感のある4人部屋。



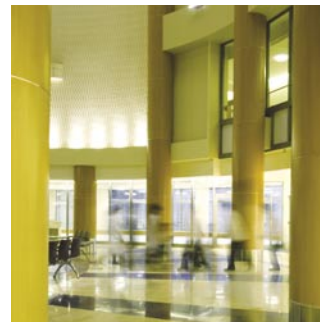
まるで街中のカフェテリア。(5階)



大きな窓が快適な個室。



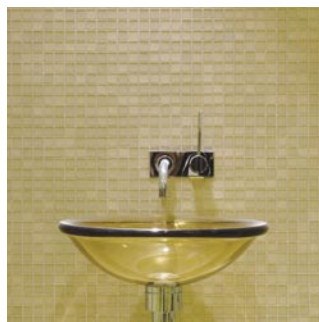
アットホームなダイニングスペース。



ホールからはリハビリテーションセンター全体を見ることができる。



首都高速からのアクセスは最高。近くに幕張メッセが見える。



クールな食堂脇の手洗い場。

ホテルをイメージした 快適な空間を目指しました。

「病人だから、できなくて
も仕方ない」と、ご自分
で可能性を狭めてしまうのは
大変もったいないことです。し
かし現実には病院の中にある以上、
気持ち沈んでしまうのも仕方
ない面があります。

そこで私たちは、訓練の時以
外は病院にいるのを忘れていた

だけけるよう、滞在型リゾートの
ような病院をめざして、室内の
調度品はすべてホテル並みのも
のを揃えました。

患者様が院内の生活を極力自
分の意思で組み立てられるよ
う、一人で過ごすスペースはプ
ライバシーに配慮しながらバリ
アフリーになっていきます。一方、
看護師などスタッフの目が届く
場では、現実の街中と変わらない
気分を味わっていただける工
夫をしています。

また、当病院は、世界的に名
高い「谷津干潟」や「旧谷津遊
園バラ園」といった、時間の経
つのを忘れる風光明媚な場所ま
でほんの300メートルほどの
距離にあります。ご家族が同行
できる時なら、散歩は自由にし
ていただいて結構です。
病院から一歩外へ出て、明る
い陽射しと風を浴びれば、きっ
と元気がわいてきます。

各フロアのご案内

5F カフェテリア、講義室

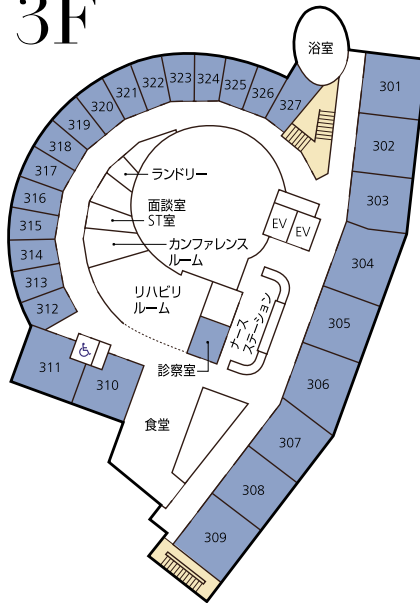
4F 病棟40床、リハビリルーム、
食堂、浴室

3F 病棟60床、リハビリルーム、
食堂、浴室

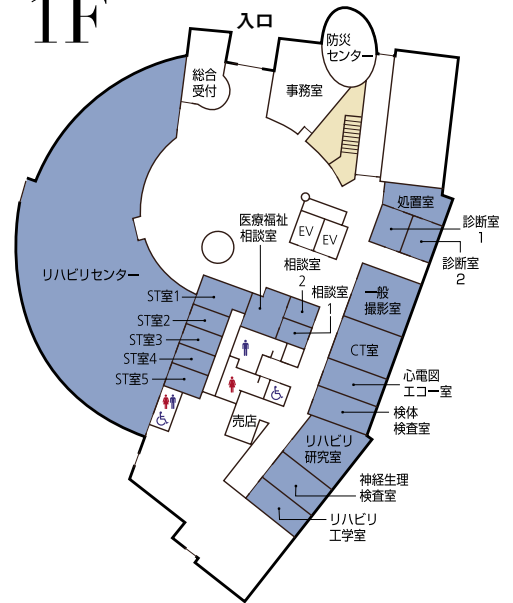
2F 病棟60床、リハビリルーム、
食堂、浴室

1F 診察室、リハビリセンター、CT、
一般撮影室、心電図・エコー室、
リハビリ研究室、神経生理検査室、
医療福祉相談室、薬局、売店

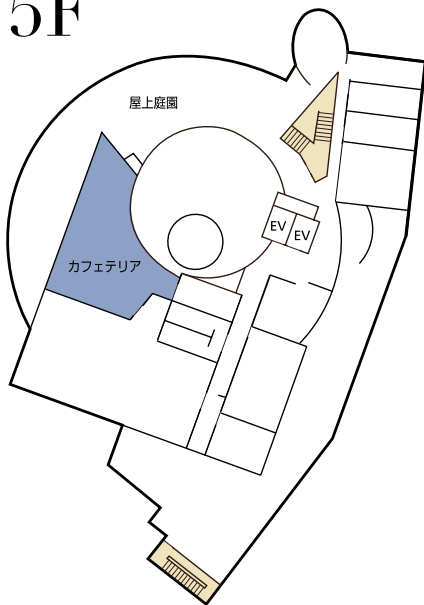
3F



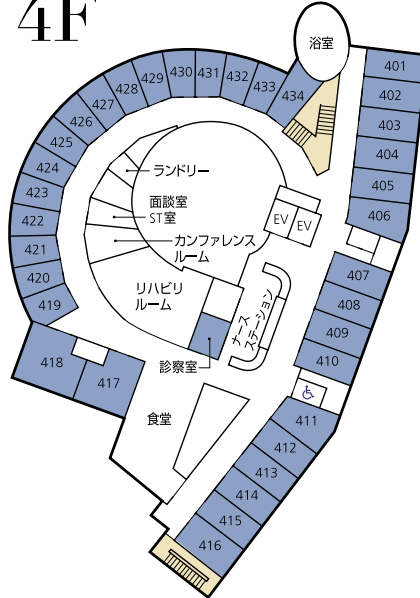
1F



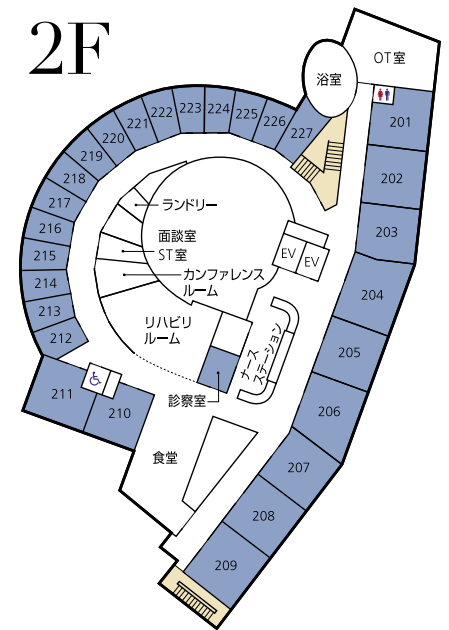
5F



4F



2F



個人情報保護についての方針

当院では、患者様に安心して医療を受けていただくために、安全な医療をご提供するとともに、患者様の個人情報の取り扱いにも、万全の体制で取り組んでいます。

個人情報の利用目的について

当院では、患者様の個人情報を別記の目的で利用させていただいております。これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者様からの同意をいただくことしておりますので、ご安心下さい。

個人情報の開示・訂正・利用停止等について

当院では、患者様の個人情報の開示・訂正・利用停止等につきましても、「個人情報の保護に関する法律」の規定にしたがって進めております。手続きの詳細のほか、ご不明点については、窓口までお気軽にお尋ねください。

医療提供

- ・患者様に提供する医療サービス
- ・他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- ・他の医療機関等からの照会への回答
- ・患者様の診療のため、外部の医師等の意見、助言を求める場合
- ・検体検査業務の委託その他の業務委託
- ・ご家族等への病状説明、入院の問い合わせに関する利用
- ・その他、患者様への医療提供に関する利用および診療等の呼び出しに利用

診療費請求のための事務

- ・当院での医療・介護・労災保険、公費負担医療に関する事務およびその委託
- ・審査支払機関へのレセプト提出
- ・審査支払機関または保険者からの照会への回答
- ・その他、医療・介護・労災保険、および公費負担医療に関する診療費請求等のための利用

当院の管理運営業務

- ・会計・経理
- ・医療事故等の防止のための病室、ネームプレート利用および安全対策上の報告
- ・当該患者様の医療サービスの向上
- ・入退院等の病棟管理
- ・その他、当院の管理運営業務に関する利用

企業等から委託を受けて行う健康診断等における、企業等へのその結果の通知

医療賠償責任保健等に係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談または届出

医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料 医療・介護サービス利用に伴う資料、診断書等の提供

当院内において行われる医療実習への協力

症例研究、その他医学の研究・教育

外部監査機関への情報提供

手続きの詳細のほか、ご不明点については、窓口までお気軽にお尋ねください。



開放感溢れる屋上カフェテリアでリハビリテーションの疲れを癒してください。

アクセス

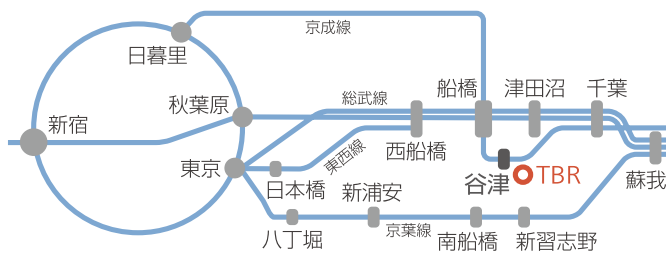
— お車でお越しの方へ

1. 京葉道路「花輪インター」下車。国道14号を千葉方面に向かい、習志野谷津郵便局のある交差点を右折。
2. 東関東自動車道「谷津船橋インター」下車。習志野方面へ向かい、最初の信号を左折。国道14号の交差点を左折、習志野谷津郵便局のある交差点を左折。

— 電車でお越しの方へ

東京湾岸リハビリテーション病院は3つの路線の駅が近くにあります。各駅から病院までは

1. 京成線 谷津駅から徒歩5分
2. JR 総武線 津田沼駅から谷津 干潟行き〔谷津2丁目〕バス停 (約7分)下車徒歩0分
3. JR 京葉線 南船橋駅からタクシーで8分(約1100円)
4. JR 京葉線 新習志野駅から無料シャトルバス運行、タクシーで8分 (約1100円)



谷津駅へ

京成線
 京成千葉から15分
 京成船橋から5分
 京成八幡から15分
 (都営新宿線 本八幡直結)
 日暮里から35分
 (京成船橋から普通乗り換え)

船橋駅へ

※ JR 船橋駅と京成船橋駅間は徒歩2分です。

総武線
 東京から24分
 秋葉原から28分
 西船橋から3分
 千葉から15分

東武野田線
 新鎌ヶ谷から12分

津田沼駅へ

総武線
 東京から28分
 秋葉原から34分
 千葉から10分

東西線
 日本橋から西船橋まで22分
 西船橋から津田沼まで8分
 (総武線乗り換え)
 浦安から津田沼まで19分

新京成線

北習志野から7分
 (新津田沼まで)

南船橋駅へ

京葉線
 東京から26分
 八丁堀から24分
 蘇我から17分

新習志野駅へ

京葉線
 新浦安から14分
 新木場から23分

東京湾岸 リハビリ テーション 病院

TOKYO
BAY
REHABILITATION
HOSPITAL



名称 医療法人社団保健会
東京湾岸リハビリテーション病院

開設者 医療法人社団保健会 理事長 糟谷 忍
 住所 千葉県習志野市谷津 4-1-1

谷津保健病院から200mの位置にあり、急性期、回復期から、家庭・社会へと切れ目の無い連携医療を提供します。

病床数 160床(回復期リハビリテーション病棟)
 開院 2007年(平成19年)3月

TEL **047-453-9000**

FAX **047-453-9002**

<http://www.wanreha.net>

外来診療のご案内

診療科目 リハビリテーション科
 神経内科
 内科

診療受付時間 月～土曜日 午前8:30～11:30

休診日 日曜日・祝日・年末・年始



保健会